

2026 年度チャレンジ英検を実施しました。

10月2日（金）

私が秋を感じるのはやはり金木犀からのいい匂いが漂ってくる時です。また彼岸花も今が最盛期です。これからが旬の丹波黒豆の枝豆や丹波栗の出荷も最盛期です。これからは丹波にとって最高の季節です。今日は中間テスト最終日です。2時間のテスト後、③学活、④避難訓練（不審者対応）を行いました。午後の予定は3年生（チャレンジ英検事業）1・2年生（ノ一部で）英語検定が終了次第下校する予定です。中間テストが終わってホッと一息したいところですが、早い教科は来週の授業でテストが返ってくるのではないのでしょうか。定期テストが返ってきたら、どうしても点数だけに注目してしまいがちですが、「点数だけ見て、答案用紙がかばんや机の中でクシャクシャ」では意味がありません。定期テストは、今まで習った範囲の中に苦手な部分が隠れていないかを知るための絶好のチャンスです。間違えた問題はしっかり復習することが大切です。学力を定着させるには①「授業中の振り返り」、②「復習での振り返り」、そして③「定期テスト後の振り返り」の3つが大切です。苦手をなくすことが、次の定期テストや最終的には3年生の高校入試対策にも繋がります。定期テスト後の「振り返り」もしっかり行いましょう。



チャレンジ英検事業

○3年生は全員、いずれかの級を受験する。

○1・2年生の受験希望者は私費負担になりますが、同時に受験する。

検定の時間

5級	13:50 ~ 14:35	約 45分間	11名
4級	13:50 ~ 14:55	約 65分間	18名
3級	13:50 ~ 15:20	約 90分間	28名
準2級	13:50 ~ 15:35	約105分間	8名
準2級プラス	13:50 ~ 15:40	約110分間	2名
2級	13:50 ~ 15:40	約110分間	1名
※1級	別日に本会場で受験のため当日は自習		1名



○避難訓練（不審者対応）実施要項

目的

- ・ 本校に不審者が侵入したと想定し、不審者への対応・生徒の避難誘導・警察等への連絡を含め、教職員と生徒が組織的に適切かつ迅速な対応ができるように、緊急時の行動を確認する。
- ・ 生徒および教職員への生命の安全に配慮し、被害を最小限に食い止めるための教職員と生徒の役割を明確にして、危機管理意識・能力を高め、生徒の防犯に対する実践的態度を養う。
- ・ 教育現場で起こった不審者による悲惨な事件の教訓をふまえ、不審者侵入時の対策や自分の身を守るための普段からの心掛けなどを含め、いざという時の効果的な方法を学び、防犯意識を高める。



日時 2026年10月2日（金）4校時（①②中間テスト、③学活、④避難訓練）

想定 4校時の授業中、不審者が校舎に入り1階昇降口付近を徘徊している。退去命令に従わず、凶器（刃物）を持ち、生徒および教職員に危害を加える恐れがある。

避難場所

- ・ 安全を確認できるまでは教室内で待機
- ・ 状況を把握し、安全が十分確保できたら体育館へ移動（全校集会の隊形）

避難経路

- ・ 不審者に近づかないよう経路を考えて避難させる。

訓練概要

- ・ 各教室には担任がつく。（誘導～点呼）
- ・ 不審者が校内に侵入した場合の教職員による初期対応の訓練を行う。（3校時）
- ・ 生徒は緊急放送を受けて、教員の指示により鍵を閉め、扉にバリケードをつくる
- ・ 不審者確保の伝達後に体育館への避難を開始する。



留意事項

- ・ 生徒には事前に避難訓練があることを伝えておく。
 - ・ 4校時開始時にバリケードの作り方を指導する。
 - ・ 緊急放送とともに、教員は放送をよく生徒に聴取させ、次の措置を行う。
- ア 周囲の様子を確認する。廊下に出ている生徒がいたら教室にすぐ入れる。
- イ 教室の鍵を閉め、扉前にバリケードを築く指示をする。
- ウ 箒や机、イスなど防衛手段に役立つものを持ってこまえる。
- ・ 「お（押さない）・は（走らない）・し（喋らない）・も（戻らない）」を徹底
 - ・ 最終点呼は避難誘導者→学年世話係→本部の順に報告する。